

御同朋と迎える春



同朋会のお花見会



徳とく泉く寺ほ報う

No. 102

発行

令和8年4月

発行元 徳 泉 寺

仙台市宮城野区

榴岡 3-10-3

(022)297-4248

[tokusenji.send](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)

[ai@gmail.com](mailto:tokusenji.sendai@gmail.com)



ホームページ

tokusenji-

sendai.com



Instagram

tokusenji.sendai



TOKUSENJI.SENDAI

四月十一日第二土曜日、徳泉寺の四月の同朋会はお花見会でした。前日までの雨風で桜の花は散り始めていましたが、お天気も良く、三十一人も人が集まり、みなさんでお弁当を食べながら親睦を深めました。年齢も環境も違う五十歳代から九十歳代まで。初めてお話しする方も多く、それでも隣同士同じ机同士で自然に会話が広がり、笑顔が溢れました。お一人お一人自己紹介も兼ねてそれぞれこの会に参加するようになったきっかけや、心に残っている言葉などをお話いただきました。先祖代々徳泉寺のご門徒さん、大事な方を亡くして浄土真宗のお寺を探すうちに徳泉寺に辿り着いた方、真宗大谷派の市民講座を聞きに行つて住職や前住職と知り合った方など、それぞれが偶然の出偶いを経てこうして一緒に食事ができる、というのは大変ありがたいなあと思いました。特に九十歳代の方々がとてもパワフルで「最近年上の方にお会いすることが少なくなったのだけど、ここへ来るとみなさんお元気だから嬉しくなつて、私もがんばらなくっちゃ、と元気をもらいます。」とおっしゃる八十歳代の方の言葉に強くなさされました。最後には『花』と『花の街』をみんなで歌つて笑顔笑顔で会を終えました。

「一切衆生の救われる道でなければ自分は救われない」金子大栄
「朝起きて ちゃんと立てれば 大丈夫」

(みなさんのお話の中に出てきた、印象に残った言葉たち)